



[右ページ写真]社名ロゴを取り付けた壁面が曲線になっており、包まれているような印象のエントランス空間。アクセントカラーのオレンジは、正面の壁のブルーとのコントラストで、訪れた人々に活力を与えます。**[写真1]**落ち着いたカラーリングの壁面も、素材を変えることでアクセントにすることが可能です。このエントランスは天然石を正面のサイン部分に使用しており、高級感を演出しています。

[写真2]壁面のスカイブルーのアクセント壁は、見る人の脳をスッキリとさせ集中力を高めます。床を濃い目のカラーリングにすることで、アクセントカラーが際立ちます。**[写真3]**ストライプ柄のアクセント壁によって、質の高さを感じさせる会議室。商談などに適した空間となります。同じ会議室でも目的によってカラーリングが異なります。**[写真4]**奥に配置されたオレンジ色のアクセントカラーが印象的な執務室。床や家具のカラーリングを明るくすることで、アクセントカラーとのバランスが取れた空間となっています。**[写真5]**ビビットなオレンジ色のキャビネットがアクセントになっている執務室。空間に占める面積が広い場合、家具やブラインドなどもアクセントとして利用することができます。



Feng-Shui Gallery

special edition vol.46

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『オフィス空間のアクセントカラー vol.1』



オフィス空間に用いるアクセントカラーは
全体のバランスを考慮して
エントランスや執務室、会議室など空間ごとに変化をつける

オフィス空間の色彩計画は、その空間に適したデザインにするのはもちろんのこと
企業のイメージや業種によってもさまざまに変わります。
全体のバランスを取りながら、効果的にアクセントカラーを用いて
床や家具の色を調整することで、整った空間にすることができます。